

八雲町CS連協だより

第2号

発行日：令和2年3月18日

発行元：八雲町コミュニティ・
スクール推進グループ

八雲町の皆さん、 はじめましてコミュニティ・スクールです!



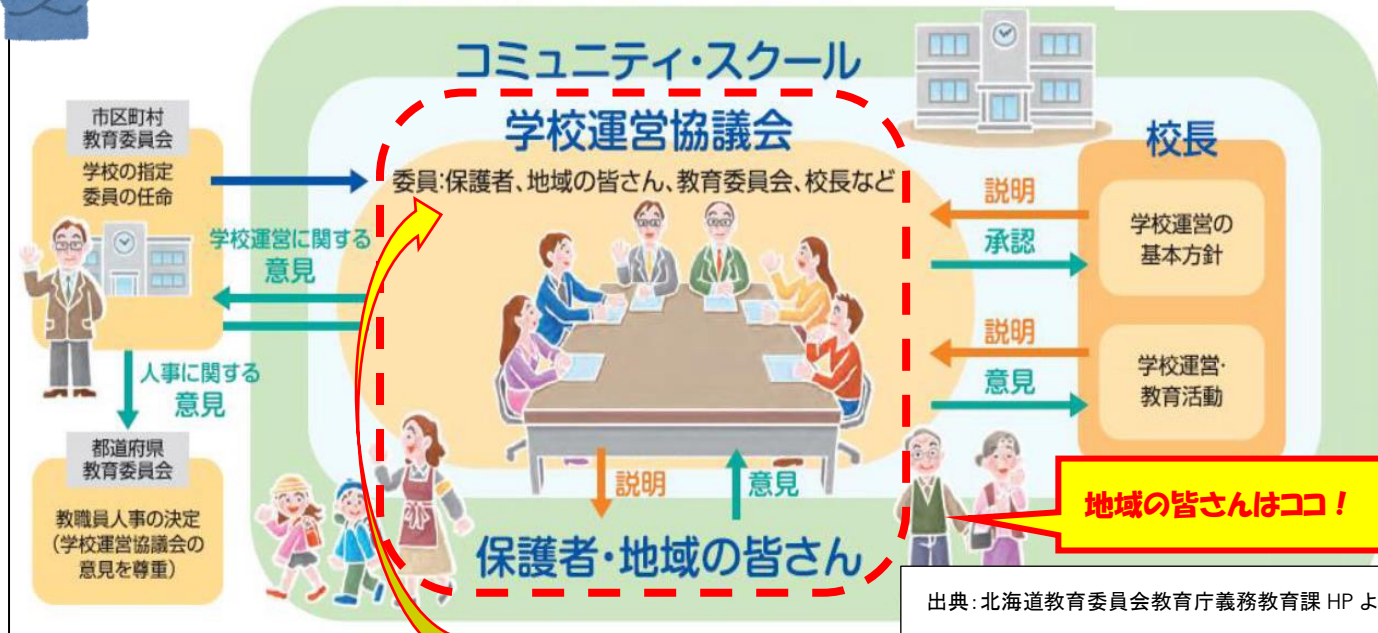
今の子どもたちを取り巻く社会の状況は、グローバル化、情報化等により、ますます複雑になってきています。これから、変化が激しく予測困難な未来が到来したとき、**子どもたちは、これまでに私たち大人でさえも経験したことのないような様々な課題を解決しながら、生き抜いていかなければなりません。**

学校が抱える課題が複雑化・多様化している現代だからこそ、地域の皆さんと学校が手を取り合い、**社会全体で子どもたちの学びを支える取組**を推進していく必要があります。



しーえす
コミュニティ・スクール(通称:CS)ってなんですか？

コミュニティ・スクールのイメージ



コミュニティ・スクールとは、「**学校運営協議会制度を導入した学校**」のことを言います。この学校運営協議会は**保護者や地域住民などから構成**されていますが、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を述べるといった取組が行われています。いわば、コミュニティ・スクールは、**学校や保護者・地域の皆さんが共に知恵を出し合い、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく、「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組み**であり、同時に、**地域コミュニティの活性化**にもつながる取組と言えます。



ご存知ですか？

八雲町でも…町内4つの中学校区を基盤にして 小中一貫型コミュニティ・スクール が導入されています！



各中学校区においては、学校、保護者、地域が一体となって

「目指す15歳（中学3年生）の子どもたちの姿」を共有し、各地域ならではの学習素材や地域人材を取り入れた取組を実施しているほか、小中学校で統一した学習・生活のきまりを定めるなど、様々な活動が行われています。

あなたの地域は？



町内4中学校区での取組状況について(一部抜粋)

八雲中学校区

(八雲中・八雲小・山崎小・浜松小)

【地域と連携した取組】

- 「秋の交通安全週間」に向けた取組として地域住民と子どもたちが街頭に立ち「旗の波作戦」を実施。
- 地域の方を講師に招いた授業を実施。

【小中一貫教育・連携の取組】

- 学校公開・参観日において、小学校・中学校の職員の相互交流を行うなど、教科連携授業の取組を実施している。



野田生中学校区

(野田生中・野田生小・山越小・東野小)

【地域と連携した取組】

- 地域の方から畑を借りるなどの協力を得ながら、学校農園を実施している学校がある。
- 校区内それぞれの学校において、地域と協力しながら「クリーン作戦」を実施。
- 地域の方や中高生のボランティアを募り、野田生中学校において校区内の小学生を対象とした学習支援を実施。(名称：野田生塾)

【小中一貫教育・連携の取組】

- 3小学校の高学年を対象に中学校教諭が出前授業を行えるよう調整している。

落部中学校区

(落部中・落部小)

【地域と連携した取組】

- 地域と学校が連携する風土があり、子どもたちの体験活動や教科における専門的な知識・技能について、地元の方から教わる機会も多い。
- 落部文化祭の合唱発表や、旗の波活動に加え、「一日防災学校」を実施。地域と学校が一体となって取り組んだ。

【小中一貫教育・連携の取組】

- 英語・音楽の乗り入れ授業を実施している他、9年間を見通したカリキュラムの作成・実践・検証を行っている。

熊石中学校区

(熊石中・熊石小)

【地域と連携した取組】

- 小学校中学校それぞれの総合的な学習の時間において、熊石生きがい学習塾や地元の施設を訪れての研修など、地域の方との交流活動を実施。今後も地域連携を進め、学校の応援団を増やしたい考え。

【小中一貫教育・連携の取組】

- 中学生が小学生に学習支援を行う「学習ボランティア」や、小中合同の道徳研修を実施するほか、算数・数学の乗り入れ授業を実施している。



Report



今年度、町内の学校で実施された様々な取組について、その一部をご紹介します。ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました♡

八雲町で獲れる鮭を使った郷土料理を教わったよ！

鮭の解体、初体験！わ～！

ワイワイ

みんな、おうちで料理のお手伝いしてる？



してますよ～！



学校の声



地元の漁協女性部の皆さんに、八雲中学校2年生の家庭科の授業で講師になっていただきました。

子どもたちは女性部の皆さんと照れくさそうな顔で会話をしており、何気ない会話でも、**そこで受け応えや会話を学んでいくのだ**と思いました。終始大変穏やかな顔で授業に参加しており、**普段とは違う子どもたちの姿**を見ることができました。

地域の方の得意なことや専門分野を子どもたちに教えていただけたことは、大変ありがたい機会でした。

「野田生塾」開催！

野田生中学校区では、夏休みと冬休み、校区内の3つの小学校に通う子どもたちを対象にした学習会（野田生塾）を、野田生中学校を会場に開催。**八雲高校や野田生中学校に通うお兄さん、お姉さんに分からないところを教わりながら**楽しく学習できました。



その調子！



熊石生きがい学習塾とのコラボ

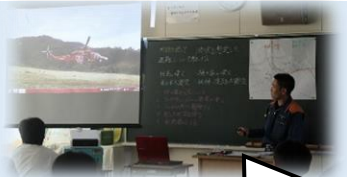
すご～い！



1日防災学校の実施

落部中学校区では、10月8日に**1日防災学校を実施**しました。

荒天により、残念ながら地域との合同避難訓練は中止になったものの、企画段階から町内会・落部支所など関係機関のみなさんと打ち合わせを重ね、**落部地域が一体となって、「身近に災害が起きたらどうなるのか、自分たちには何ができるのか」を考えるきっかけ**となりました。



学校は海が近いからもし津波が来たら…

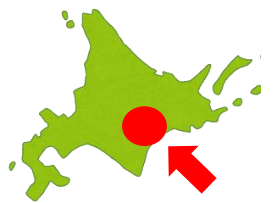
熊石生きがい学習塾（高齢者学級）の皆さんと熊石小学校の児童が、一緒に劇や民舞などの民謡を鑑賞したり、昔遊びを体験しました。**おじいちゃん、おばあちゃんたちが教えてくれる「ゴム飛び・紙ヒコーキづくり」**は特に大人気！

これらの活動は「地域学校協働活動」と言い、子どもたちだけではなく、一緒に活動する大人（地域）にも学びや気づきが多く生まれていることが特徴です。

「子どもたちから元気をもらった」「学校を応援したくなった」という声も聞こえてきます。**地域全体で育ちあう仕組み**、あなたも参加してみませんか？



浦幌町と中札内村へ視察に行ってきました



八雲町におけるコミュニティ・スクールの一層の充実と深化のため、道内で先進的な取組を行っている十勝管内「浦幌町」と「中札内村」へ視察研修に行ってきました。(9/24~25)



【参加者】●八雲町各中学校区 CS 連絡協議会員の校長及び代表 7名
●八雲町教育委員会 CS 推進グループ 2名 計9名

学校という枠を超えたまちづくりにも…「うらほろスタイル」は全国からも注目の的

- 「うらほろスタイル」と呼ばれるふるさと学習・キャリア教育の取組が特徴的。地域の方からCSを求める土壤のあった町。
- 町内にある2つの中学校区それぞれに「〇〇学園」と名称をつけ、小中学校9年間の流れを構築している→八雲町と同じ!
- 地域と学校の架け橋となるコーディネーター役をNPO法人「うらほろスタイルサポート」が担っている。→実際にマネジメントする人材(コーディネーター)の発掘と養成が八雲町においても急務である。

浦幌町



●CS(また、地域学校協働活動)について地域や保護者への浸透を図る方策がきめ細やかに行われている。

←学校には、活動の様子を紹介するポスターがたくさん掲示されていました!

「共育」…地域の大人が力を合わせて、子どもたちを共に育てる

中札内村

- 「中札内村共育の日」の設定。地域の大人が力を合わせて村の子どもたちを共に育てるとともに、大人も育つ(地域づくりに繋がる)ような仕組みに取り組んでいる。
- 各学校で共通して育みたい課題(村としての課題)を共有し、どのように改善していくか、学校・地域・行政で議論を重ね、焦点化された取組を実施している。(あいさつ・返事のできる子どもを育成するために、実態調査、川柳・標語コンテスト、朝の健康ウォーキング、あいさつ運動等の実施)地域の防犯意識の高まりにも繋がった。
→子どもは学校と家庭だけでは育たず、地域社会の教育力によるところが大きい。「地域と共にある学校」が望まれる。



遊具の劣化が進んでいた小学校の校庭に「子どもたちが楽しめる遊び場を」と、子どもと大人でいっしょに遊具づくり。地域の結束力も高まったとか。



八雲町と、今回視察した2町村は、人口規模や産業形態・地域の文化や学校形態も異なります。2町村から取り入れるべきところを融合して吸収し、八雲町ならではのコミュニティ・スクールについて今後も考えていく必要があります。これからは、学校を核とした地域づくりも求められている状況です。

【発行元】八雲町コミュニティ・スクール推進グループ(八雲町教育委員会内)
〒049-3112 八雲町末広町154番地 ☎0137-63-3131